

～憧れの漁師生活は、充実と厳しさの両面あり！～  
渡邊 翔太さん（西条市（旧東予市））

1992年生まれ

壬生川漁業協同組合



### ☆経営概況☆

小型機船底びき網漁業 使用漁船（4.99トン） 主な漁獲物（カレイ、ヒラメ、スズキ、タチウオ、エビなど）。かにかご漁業及びはえ縄漁業 使用漁船（1.9トン） 主な漁獲物（カニ、タイ、ハモなど）。

### ☆ここがポイント☆

#### ①漁業を始めたきっかけ

子供の時から釣りが好きで海に関わる仕事がしたいと思っていました。そんな時に、一人の漁業者と知り合いになり、その縁で周りの漁業者とも話をするようになる中で、自分がやりたいことが見えてきました。数年間は色々な漁業を体験してみましたが、自分一人で操業できること、頑張れば毎日収入が得られること等の理由で、小型機船底びき網漁業を営むようになりました。

#### ②先輩の漁業者に教えてもらうこと

主体の小型機船底びき網の「えびこぎ網」は、70歳代の漁師に師事。「戦車こぎ網」は、40歳代の若手漁師に師事し、それぞれ技術的な指導を受けました。ただ、自分なり一生懸命に働いても熟練漁師には勝てない時も多く、やはり、経験の差を感じます。

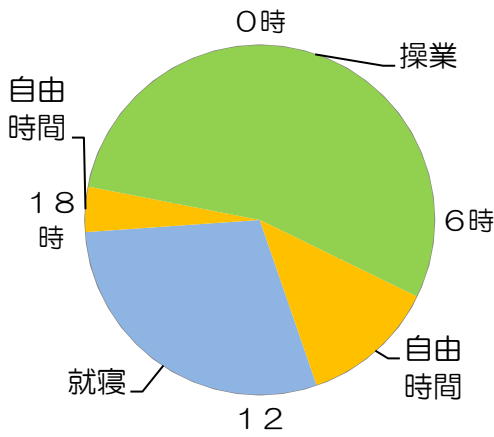


漁場から帰港。



今日も満足

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

月に 20 日間程度を目標に海に出ています。漁法によって、過ごし方は異なりますが、小型機船底びき網は、夜間に操業して、昼間に就寝するといった昼夜が逆転した生活となります。時化の中での操業で体力的にきつい時もありますが、どんな魚であっても、**網に沢山入っているのを見た時の喜びは、お金に関係なく格別なものがあります。**

平日は漁業が中心の生活ですが、週一回の休漁日である土曜日には、買い物や外出に行ったりして、友達と楽しんでいきます。船を購入して漁業を始めた以上、やり続ける覚悟を持ってやっていますが、仕事が好きなので、苦になりません。

一週間のライフスタイル（一例）

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	出漁				休日	出漁
【普通期】	出漁				休日	



悪天候の日は漁具補修



漁獲物のイタダク

☆これからの夢や目指すもの☆

漁業者は広い海の上で一人一人が操業していますが、効率良く漁獲するには、情報交換が大切です。今後も仲間を大事にしていきたいと思っています。一方、**若者も高齢者も海の上では同じ土俵で勝負しており、努力や経験が成果に現れることにやりがいを感じます。**今でも経験豊富な高齢の漁業者にはなかなか勝てませんが、始めた頃と比べたら、一日、一年の作業の流れがつかめてきました。これから経験を積んで、さらに仕事ができるようになりたいです。

☆メッセージ☆

もし漁業に興味を持ったら、港に出てきて、実際の漁業者と話をすれば、漁業者になることの良い面ばかりではなく悪い面も含めて、検討する材料を与えてくれると思います。私も就業する時には先輩漁業者に漁労技術、船や計器の入手など親身になって助けてもらい、すごく感謝しています。私の住む地区でも漁業者の高齢化が進んでいますが、近年、若い新規漁業者が少しずつ加入するようになりました。**今後は、新たな後輩達を積極的にアドバイスしながら、共に地区の漁業を支えていけたらと考えています。**